

平成22年度 第1回理事会議事録

開催日時：平成22年5月23日(日)12時30分～15時
 場所：東京医科歯科大学1号館9階 会議室
 出席者：三村邦裕(理事長)、佐藤健次、吾妻美子、利光 央、
 今井正、岩谷良則、狩野元成、小市加陽子、芝紀代子、
 城田恵次郎、寺平良治、永尾暢夫、信岡学、森山隆則、
 渡辺正友、大澤進(書面表決)、森田耕司(書面表決)、
 合田清監事

1. 議事録署名人選任
 佐藤健次副理事長、吾妻美子理事が選任された。

2. 報告事項

1)平成21年度第5回理事会(平成22年3月13日実施)報告
 (日臨技 生理検査項目の追加について)
 平成22年3月4日付け社団法人日本臨床衛生検査技師会(以下 日臨技という)小崎繁昭会長より本協議会理事長宛に『生理学的検査の業務拡大について』意見を求められ、理事会にてメール審議を行った。今般の項目追加は、教育内容、時間数ともに対応可能である。又、業務制限のある生理検査の業務拡大は、臨床検査技師の資質向上に繋がることから、理事全員から承認された。回答書を平成22年3月15日に日臨技小崎会長宛に郵送したと報告された。

2)第5回日本臨床検査学教育学会学術大会について
 中間報告として、演題募集のホームページ掲載、大会ポスターの発送を行い、実行委員会が精力的に活動している。特別講演「健康教養について」中略重之(弘大)、教育講演①「可溶性ローヤルゼリー-蛋白質の網羅的研究と生理活性について」森山隆則(北大)、②「臨床検査としての出血時間測定の問題点-出血時間は不要な検査か?」高見秀樹(弘大)、教員研修会テーマ「学生実習における危機管理マニュアル作成について」(同時開催)を行う予定であると述べた。又、ランチョンセミナー・抄録集作成等、今後の作業予定を付け加え報告された。

3)第6回日本臨床検査学教育学会学術大会について

1. 開催日 平成23年8月17日(水)～19日(金)
 2. 会場 新潟大学医学部保健学科
 3. 大会長 渡邊正友(新潟医専)
 4. 副大会長 岩淵三哉(新潟大)
 5. 実行委員長 次期大会長
 6. 担当校 新潟医療技術専門学校
 7. 主催 日本臨床検査学教育協議会
 8. 後援 文部科学省 厚生労働省 予定
- プログラム概要並びにポスター原案等を早期に定め、来年の開催に向けて準備を進めると報告された。

4)退会について

平成22年2月23日付けにて藤田保健衛生大学短期大学は閉校のため平成21年度末をもって退会の届出があった。これにより、平成22年度正会員校数は72校となる。寺平良治理事(藤田保健短)より藤田保健短と発展的に統合するのであり、医療科学部として臨床検査技師教育を続けると述べ、協議会活動にも参加すると付け加え報告した。

5)平成21年度本協議会の模擬試験について

受付会員校数38校、1,712部の申し込みがあった。残高93,970円は本協議会に納付された。平成22年度も引き続き近畿・中国・四国部会長吾妻美子理事が担当するとの確認がなされた。

6) その他の報告事項

- ①明日、本年度第1回教育問題検討委員会及び大学指定校化委員会を開催する。

- ②編集委員会より本協議会学会誌は今後、教育学の研究手法

を掲載する。また、編集委員会の担当を検討すると報告された。

3. 議案審議

1)第一号議案 平成21年度事業経過報告について
 平成21年度は、第4回日本臨床検査学教育学会学術大会の開催、各種部会、委員会への出席、臨床検査関連団体の行事参加、また、教育問題検討委員会、大学指定校化委員会を立ち上げ、日臨技会長との懇談会を実現した。文科省、厚生省及び各関連学術団体との連絡協議等を行った旨の報告がされた。以上の事業経過報告について承認された。

2)第二号議案 平成21年度決算報告について
 収支計算書に基づき、事業活動収入計 9,382,862 円、事業活動支出は事業費支出・管理費支出・積立金を合計し 10,464,688 円、財務活動収支差額 1,000,000 円、次期繰越金 6,963,207 円となること報告された。平成21年度の決算報告について承認された。

3)第三号議案 平成21年度監査報告について
 平成21年度の会計帳簿及び事業報告の内容を監査した結果、会計は正確に処理されており、又会務は適正に運営されていると報告された。以上の監査報告について承認された。

4)第四号議案 平成22年度事業計画案について
 年間を通じて、文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床検査医学会等の各関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議をする。また、第5回学術大会開催や部会・委員会活動を行なうなどの説明がなされた。以上の事業計画案について承認された。

5)第五号議案 平成22年度予算案について
 今年度の事業活動収入は、正会員費5万円、賛助会員費10万円を請求し、一般会費収入の予算額は370万円(72校)、特別会費収入等を加え事業活動収入計1,110万円を計上した。事業活動支出は、第5回学術大会の開催、各委員会等の会議費用、学会誌発刊並びに租税公課では役員登記のための登録免許税を計上し、事業活動支出計は、1,110万円を計上した。財務活動収支差額50万円、次期繰越金7,463,207円となると説明された。本年度予算案について承認された。

6) その他の議案

①50周年記念事業について
 昨年の臨時総会において平成22年12月12日開催とし、会場の選定等の準備を進めていた。しかし、本事業の中心であった事務局長大西英文常務理事が4月22日逝去され、計画を予定通り進めることが困難となった。従って、開催を延期したい。また、多くの方に、参加していただくために来年度の定時総会の前日開催にしたいと述べた。又、佐藤健次副理事長から医歯大M&Dタワーを会場にとの提案があった。本件について承認された。

②常務理事(事務局長)の選任について

常務理事が不在の状態であり、選任する必要がある。常務理事の選任は定款12条第2項により、理事長が指名すると定めているが、大西常務理事が逝去され日も浅く、後日、選任したいと述べた。本件について承認された。

③緊急臨床検査士認定試験合同委員会(同学院主催)報告

緊急検査士の受験者が増加し続けており、会場が不足している。会場を確保するために、会員校の協力を広く求めたいとの提案があった。本件について承認された。

平成22年5月23日(日)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

議 長	三村 邦裕	印
議事録署名人	佐藤 健次	印
議事録署名人	吾妻 美子	印

平成22年度 定時総会

開催日時：平成22年5月24日(月)13時～17時

場 所：東京医科歯科大学5号館4階講堂

加盟校数：72 校

出席校数：72 校(委任状を含む)

参加人数：101 名

1. 開会の辞(理事長挨拶)

2. 報告事項

1) 平成21年度第5回理事会(平成22年3月13日実施)報告
(日臨技 生理検査項目の追加について)

2) 第5回日本臨床検査学教育学会学術大会について

3) 第6回日本臨床検査学教育学会学術大会について

4) 退会について

5) 平成21年度本協議会の模擬試験について

6) その他の報告事項

①平成22年度第1回教育問題検討委員会報告

多くの問題点がある中で、当委員会は臨地実習の充実
に焦点を絞り、日本臨床衛生検査技師会と指導者育成、
実習期間・内容等について協議する。

②平成22年度第1回大学指定校化委員会報告

この度の委員会は日程の都合により委員会は開催しな
かったが、参加できた委員で今後の活動の方向性を話
し合った。今後の臨床検査技師の発展を考える上で
指定校化するメリット、デメリットを議論した上で夏前
にはアンケート調査をする。

③短期大学・専門学校部会報告

部会30校全て出席し、3年制教育が抱える諸問題につ
いて講演及び質疑応答が行われ活発な会となった。

講演1.「学生募集状況と今後の課題」

小林隆志(東洋公衛)

講演2.「3年生養成校の臨地実習の問題点」

小市加陽子(近畿医専)

講演3.「国家試験対策の現況」

木村明(北里保専)

④緊急臨床検査士資格認定試験合同委員会報告

緊急検査士認定試験の受験者が急増し、会場が不足
している現状があり、会員校に積極的な会場提供をお
願いした。

3. 議長選任

議長 利光 央(美萩野医専)

4. 議案審議

1) 第一号議案 平成21年度事業経過報告について
全会一致で承認された。

2) 第二号議案 平成21年度決算報告について
全会一致で承認された。

3) 第三号議案 平成21年度監査報告について
全会一致で承認された。

4) 第四号議案 平成22年度事業計画案について
全会一致で承認された。

5) 第五号議案 平成22年度予算案について
全会一致で承認された。

6) その他の議案

a)平成22年度卒業(修業)証明書の提出について
厚生労働省医政局試験免許室から調査の依頼を受け、
本年4月12日付けアンケート調査を行った。全施設のう
ち2施設は困難との回答であった。回答結果をもとに厚
労省と話し合いを行い、再度日程等報告したい。

b)本協議会50周年記念事業について

昨日の理事会において50周年記念事業の開催は延期
とし、改めて平成23年5月22日(日)、会場は東京医科歯
科大学 M&Dタワー大講堂で行いたい。

上記a)、b)について承認された。

5. 講 演

『ISOに基づき臨床検査室に求められるもの』

～国際的潮流～

社団法人 東京都臨床検査技師会 会長

財団法人 日本適合性認定協会 認定センター 部長補
下田 勝二 様

6. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省 高等教育局医学教育課

医療技術係長 吉田 将吾 様

厚生労働省 医政局医事課 指導係 藤本 晃 様